

量と測定

第1学年

同じ数ずつ

つまずきの実態

～こんな児童の姿が見られませんか？～

乗法や除法の素地となる「同じ数ずつ」の意味が理解できない。

問題：キャラメルが8こあります。1人に2こずつあげると、なん人にあげられますか。



8個のキャラメルを2個ずつあげるから $8-2$ で 6個

2こずつが正しく理解できていない。

キャラメルを2個ずつ配ったけど、何を答えるの？

問われていることが理解できない。



単元の概要

目標

まとめて数えたり等分したりするブロック操作や、それを絵や式にかいて確かめることを通して乗法や除法の素地となる「同じ数ずつ」の意味を理解する。

内容

※太字は次ページに詳細を掲載

- 同じ数ずつを集める活動
- 同じ数ずつ分類する活動

学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

学習内容 (単元名)		つまずきの実態
第6学年	速さ	→ 速さの意味や表し方が十分に理解できない。
第5学年	単位量あたりの大きさ	→ 異種の2つの量の関係を正しくとらえられず、わり算によって求められた数値の意味が理解できない。
第4学年	小数のわり算	→ 商が1より小さくなる等分除の場面で、除法が用いられることを理解することができない。
第3学年	あまりのあるわり算	→ 乗法と除法の関係や等分除、包含除の違いが理解できない。
第2学年	かけ算	→ 数のまとまりや、被乗数と乗数の関係が理解できない。
第1学年	同じ数ずつ	→ 乗法や除法の素地となる「同じ数ずつ」の意味が理解できない。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ①

数図ブロックを使って場面を役割演技させる活動

活動のねらい▶ 操作活動を通して、同じ数ずつ分ける意味の理解を助ける。

ここがポイント

- 机の列の先頭の児童に数図ブロックを8個もたせ、「前の子から順に2個ずつあげてごらん」と投げかける。
- 全員が操作し終わるまで、繰り返し動作化させる。

期待される児童の姿



キャラメルをあげる人ともらう人に分かれて説明を加えながら役割演技をすることで、問題場面を正しく把握することができるようになる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ②

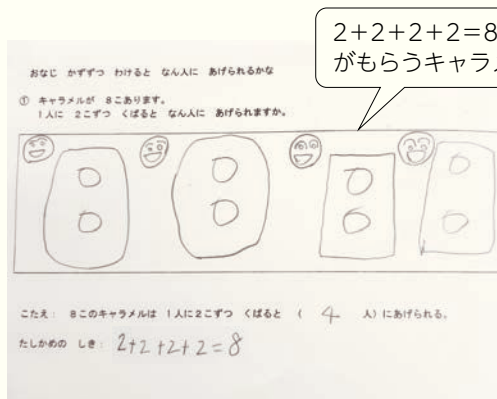
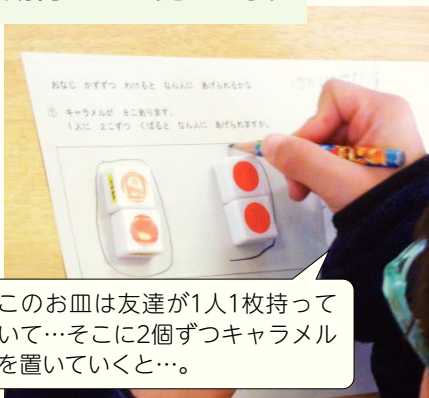
数図ブロックや自分がかいた図を用いて、どのように考えたのかを、ペアで伝え合う活動

活動のねらい▶ 絵や式に表したものをもとに説明し合うことで、同じ数ずつ集めたり分けたりする意味についての理解を深める。

ここがポイント

- 「ブロック→え（絵）→こたえ→しき」の流れを掲示し、手順に従って考える中で、2個ずつあげるという操作や図と、 $2+2+2+2$ という式の関係をとらえさせる。
- 答えを出してから問題場面を振り返ることで、直接答えに結び付かない式の意味も理解できるようにする。

期待される児童の姿



図を指し示したりブロック操作をしたりしながら説明することで、「同じ数ずつ」ということを意識して伝え合うことができる。